

(1)保存地区の概要

地 区 名	雲仙市神代小路
種 別	武家町
面 積	約9. 8ヘクタール
選定年月日	平成17年7月22日
特 徴	神代小路は、天正15(1584)年の九州国割を経て、慶長13(1608)年鍋島信房が初代領主になったことに始まる。 城址の森と堀を兼ねた川に囲まれた武家地ならではの閉鎖的空間を有する。江戸中期の地割をよく残し、武家屋敷建築の主屋や長屋門が屋敷囲いを構成する生垣や石垣、水路などの環境要素と相まって美しい町並景観を醸し出している。



(2) 保存地区のあゆみ

- | | |
|--------------|--|
| 平成11年度(1999) | まちなみ保存会結成 |
| 平成12年度(2000) | 電柱移設と街灯整備 |
| 平成13年度(2001) | 伝建制度勉強会開始 |
| 平成14年度(2002) | 伝建保存対策調査開始
生垣剪定ボランティア事業開始
(南九州大学と連携)
緋寒桜の郷づくり開始
長崎県地域文化章受章 |
| 平成15年度(2003) | 伝建条例制定 |
| 平成17年度(2005) | 重要伝統的建造物群保存地区選定
神代鍋島塾結成 |
| 平成18年度(2006) | 都市景観大賞(うつくしいまちなみ賞)受賞 |
| 平成19年度(2007) | 鍋島邸 重要文化財指定 |
| 平成28年度(2016) | 防災計画策定 |
| 平成29年度(2017) | 「第8回地域再生大賞」優秀賞受賞 |

神代小路のまちづくりは、地区住民と行政が協同して、地域おこし事業、環境整備に取り組んできた。その過程で大学や地域おこし団体との連携にも努めている。

重伝建地区選定



河川清掃



防火パレード



神代鍋島塾結成



生垣剪定ボランティア事業



防火訓練



(3) 保存地区の保存と整備

伝建地区内における施設整備件数

	修理事業	修景事業	防災事業	案内板整備	電線移設	その他
伝建事業	27	8	1	3	0	27
まち環事業	1	10	0	0	0	11
その他	1	3	0	3	6	11
計	29	21	1	6	6	49

看板設置



交流館整備



修理事業着工前



修理事業竣工



修理事業着工前



修理事業竣工



修景事業着工前



修景事業竣工



修理事業着工前



修理事業竣工



(4) 保存地区の活用とまちづくり

1. 伝統的建造物群を活用したイベント開催

伝建地区内の緋寒桜開花時期(2月中旬から3月上旬)にかけて、自治会・保存会・支援団体による緋寒桜の郷まつりが企画され、地域のイベントとして定着している。

また、観光部局と連携し、伝建地区内での滞在時間延長に向け観光ガイドツアーや陶芸体験などを造成し、交流人口拡大に努めている。

2. 周囲への波及効果

伝建地区選定をきっかけとして、地域青年がまちづくりの支援組織として神代鍋島塾を結成し、イベント開催・清掃事業等に取り組んでいる。また、令和2年5月には「灯りのともるまちにしたい」という思いのもと、地区の清掃やイベント企画を行うNPO法人神代小路ネットワークが立ち上がった。

また、イベント開催を通じ、観光客が立ち寄り始めたことから、伝建地域に民間事業者(古民家宿泊施設やカフェ)の参入があり、地域活性化に繋がっている。

3. 地元住民の声

当地区において、高齢化と過疎化で寂れていく故郷を再興するため、平成11年に有志7名により「神代小路まちなみ保存会」を組織。歴史的まちなみを維持保存し、定住人口の増加を図るとともに、次世代に伝承するため、当地に縁りのある方々に「まちなみ会報」による情報発信を行い、故郷への思いを呼び起こすための空き家、空地対策を進めている。

また、地域の活性化を図るため、緋寒桜を植林し、10数年前から「緋寒桜の郷まつり」を行っているが、県内はもとより佐賀県・福岡県等から、鍋島邸を始めとし、保存地区へ観光客が来ている。

今後、空き家が増加している状況の中、有益な定住地として、より良い環境づくりをしていくために、行政や地域住民と連携を取りながら地域づくりに努めたい。

(神代小路まちなみ保存会)

緋寒桜の郷まつり



旧中学校校舎でのイベント (鳥刺し踊り)



空き家活用勉強会

